

平成 21 年 4 月 6 日

(有)元祖 白糸本舗 御中

仙台市若林区卸町 1 丁目 4 番 7 号

三倉産業株式会社

TEL 022-232-6151

FAX 022-284-2027

NON-GM大豆報告書

品 名 北海道産大豆

(19年産 スズマル・小粒)

<添付書類>

- ・全国農業協同組合連合会

国産大豆の産地・銘柄等について

本・農・大豆・発 No. 17

大豆における遺伝子組み換え技術利用の現状について

17 農会第 1182 号

平成 19 年国産大豆の残留農薬検査結果について

本・園農・大豆・発 No.16

- ・三倉産業(株)出荷証明書

平成 21 年 4 月 6 日発行

以 上

本・園農・大豆・発 No.17

平成20年4月28日

三倉産業株式会社 御中

全国農業協同組合連合会

国産大豆の産地・銘柄等について（ご報告）

拝 啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろ、本会の国産大豆の取扱いにつきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このことにつきまして、貴社に販売した国産大豆の産地・銘柄等の内容については、本会と貴社との間で締結された売買契約書および荷渡指図書に記載されたとおりであり、農産物検査法にもとづく検査合格品であることをご報告いたします。

なお、個別現品については、その包装・容器もしくは票せんに記載されている検査年月日・検査結果によりご確認をお願いいたします。

また、国産大豆における遺伝子組換え技術の利用について、国の試験研究機関および指定試験地等において育成された登録品種は、遺伝子組換え技術を用いていないことを農林水産省および当該都道府県より書面にて回答を得ていますので、あわせてご報告いたします。

敬 具

添付書類：平成17年11月30日付農林水産省回答文書および登録品種一覧表
平成20年4月14日付農林水産省回答文書および登録品種一覧表
指定試験地等からの回答文書

平成21年4月6日

(有)元祖 白糸本舗 御中

仙台市若林区卸町1丁目4番7号

三倉産業株式会社

TEL 022-232-6151

FAX 022-284-2027

<国産大豆出荷証明書>

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、国産大豆が下記の数量及び期日に間違いなく、御社に納品させて頂いていることを、ご報告申し上げます。

敬具

記

商品名 : 北海道産大豆 (19年産 スズマル・小粒)
納品数量 : 30Kg ×
納品日 : 平成21年4月1日

以上

国産大豆お取引先 各位

全国農業協同組合連合会

平成19年産国産大豆の残留農薬検査結果について

日ごろから、国産大豆の取扱につきまして、格別のご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成19年産国産大豆について、残留農薬の自主検査を実施いたしましたので、

以下のとおり報告します。

記

県名	分析機関	検査結果
北海道	ホクレン農業総合研究所 食品分析センター (財)日本冷凍食品検査協会	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
青森	██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
岩手	███ ████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
秋田	██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
宮城	██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
山形	全██ 営██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
庄内	███ 営農██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
福島	日本エコテック㈱	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
茨城	██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
栃木	██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
群馬	██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした
埼玉	███ 営██████████	検査した全ての薬剤(成分)について基準値以上の残留は認められませんでした



17農会第1182号
平成17年11月30日

全国農業協同組合連合会
農産部長 中谷 博 殿

農林水産省農林水産技術会議事務局
地域研究課長

大豆における遺伝子組み換え技術利用の現状について（回答）

平成17年11月28日付け本・農・大豆・発 No.131 で照会のあった事項について、これまで農業に関する試験及び研究を行う独立行政法人及び指定試験地において育成され、「農業試験研究独立行政法人等育成農作物新品種命名登録要綱」（平成13年4月17日付け12農会第3072号農林水産事務次官依命通知）等により命名登録された大豆品種（別紙）については、交配育種により育成された品種であることが育成系譜上確認されており、遺伝子組み換え技術を用いたものはない旨を回答します。